

県内経済の基調判断

2025年1月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は弱めの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は総じて弱含んでいる。雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年11月	12月	2025年1月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている <b>(据え置き)</b>	総じて足踏みしている <b>(下方修正)</b>	総じて足踏みしている <b>(据え置き)</b>
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる	弱めの動きとなっているが、このところ一部で上振れがみられる	弱めの動きとなっている
個人消費	持ち直しの動きが鈍化し、足元弱含んでいる	総じて弱含んでいる	総じて弱含んでいる
雇用情勢	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている	持ち直しの動きが足踏みしている
	2024年1~3月	4~6月	7~9月
企業状況の感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

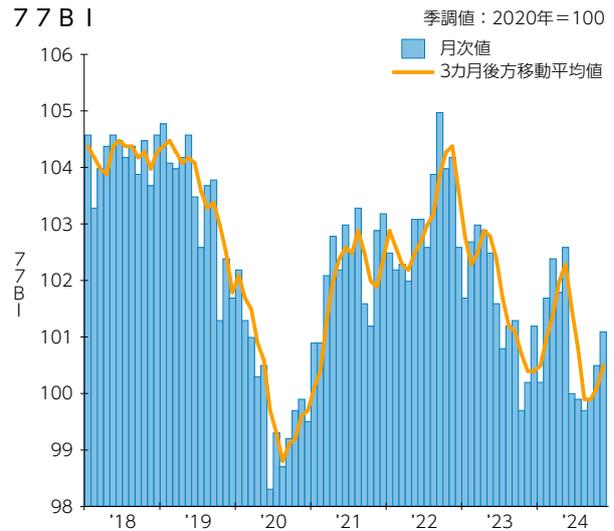
77B I (暫定値)は、弱めの動きとなっている。

11月の77B I (暫定値)は、前月比0.6ポイント上昇の101.1となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比低下したが、宮城県消費動向指数、有効求人倍率は前月比上昇した。また、10月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.4ポイント上昇の100.5となった。

77B I



出典：当社作成 (以下も同じ)

77B I (季節調整値、2020年=100)

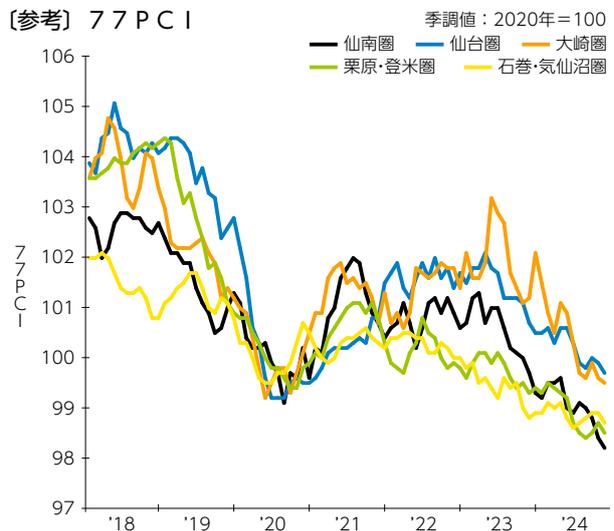
	2024年9月	10月	11月
B I 値	99.9	100.5	101.1
鉱工業生産指数	94.9	109.2	109.2
宮城県消費動向指数	103.1	97.0	99.6
建築物着工床面積	227.1	53.9	43.1
有効求人倍率	97.1	97.1	98.7

【参考】77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年9月	10月	11月
仙南圏	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.2
仙台圏	0.1	▲ 0.01	▲ 0.2
大崎圏	0.3	▲ 0.3	▲ 0.1
栗原・登米圏	0.1	0.2	▲ 0.2
石巻・気仙沼圏	0.1	0.003	▲ 0.3

※77B Iは、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

【参考】77P C I



出典：当社作成 (以下も同じ)

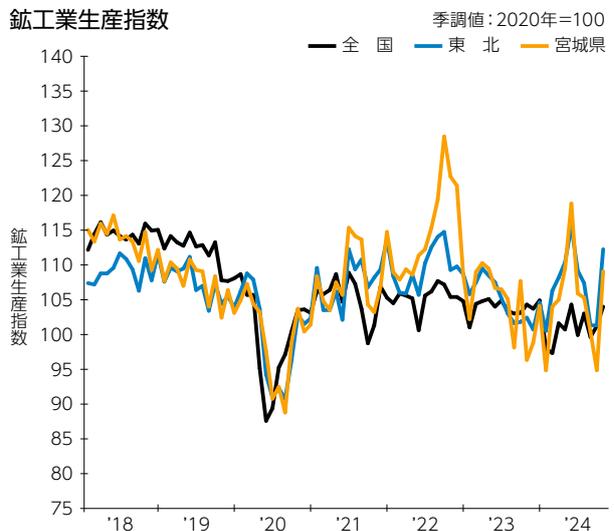
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

10月の鉱工業生産指数は、前月比15.1%上昇の109.2となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比プラスとなったことなどから、5カ月ぶりに前月を上回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比15.1%の上昇となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

鉱工業生産指数



出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数

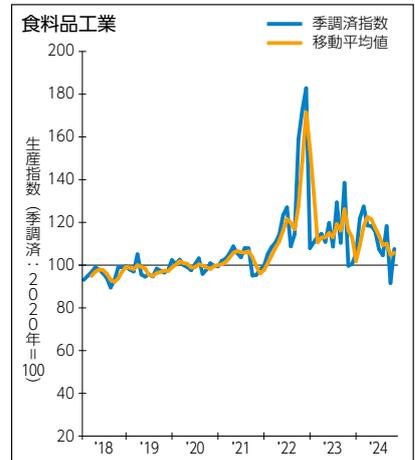
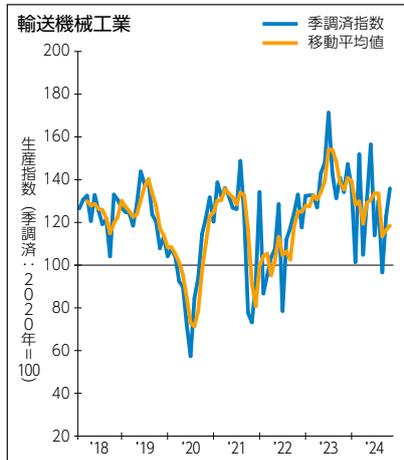
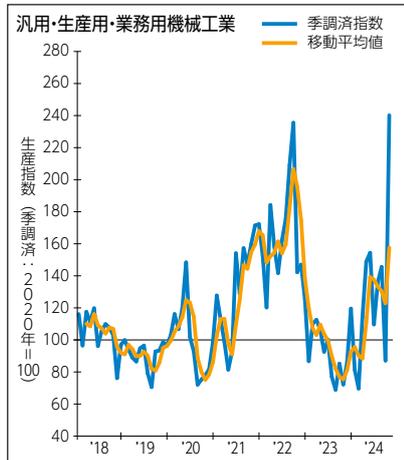
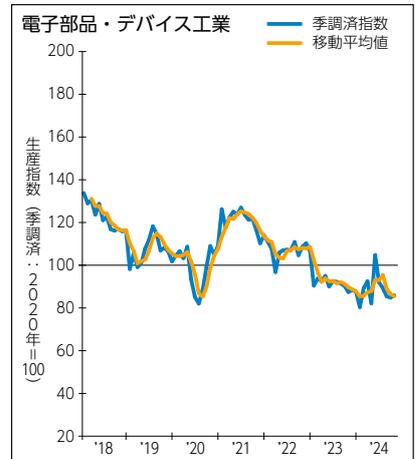
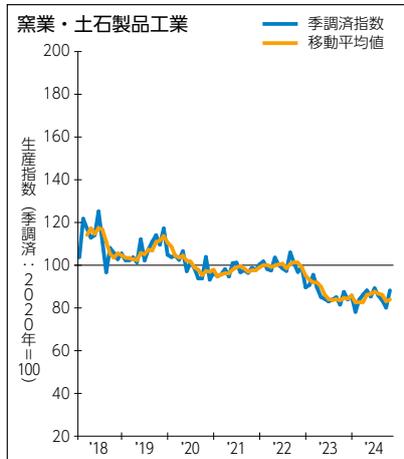
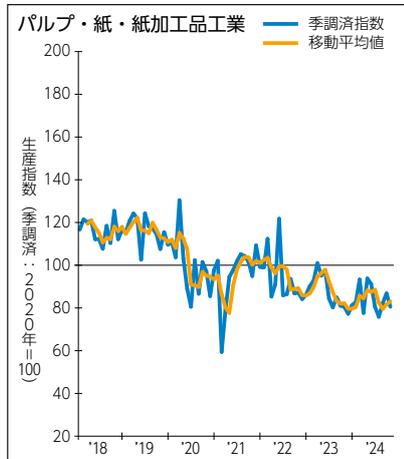
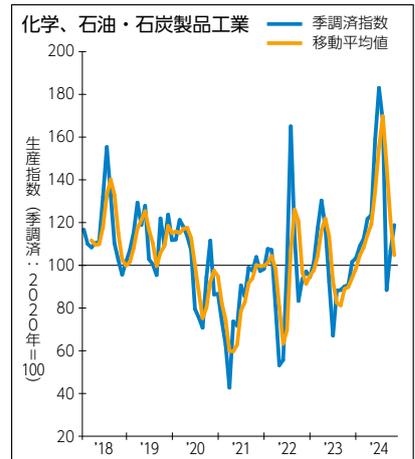
(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

	2024年8月	9月	10月
宮城県	100.5	94.9	109.2
(前年比)	0.7	▲ 13.3	15.1
東北	101.4	101.4	112.4
(前年比)	▲ 1.7	▲ 1.5	11.3
全国	99.7	101.3	104.1
(前年比)	▲ 4.9	▲ 2.6	1.4

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

業種	2024年8月	9月	10月
化学、石油・石炭製品工業	88.4	106.7	118.9
(前年比)	0.0	23.5	31.0
パルプ・紙・紙加工品工業	82.1	86.8	80.5
(前年比)	▲ 1.6	7.2	▲ 1.7
窯業・土石製品工業	83.5	80.1	88.2
(前年比)	▲ 4.6	▲ 6.9	3.8
電子部品・デバイス工業	85.4	84.8	85.9
(前年比)	▲ 8.5	▲ 6.1	0.2
汎用・生産用・業務用機械工業	145.6	87.0	240.4
(前年比)	2.1倍	▲ 10.9	3.4倍
輸送機械工業	96.6	122.9	136.0
(前年比)	▲ 28.3	▲ 10.5	3.9
食料品工業	118.3	91.6	107.6
(前年比)	7.4	▲ 34.8	7.7



**建設動向**

公共工事請負金額は弱めの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

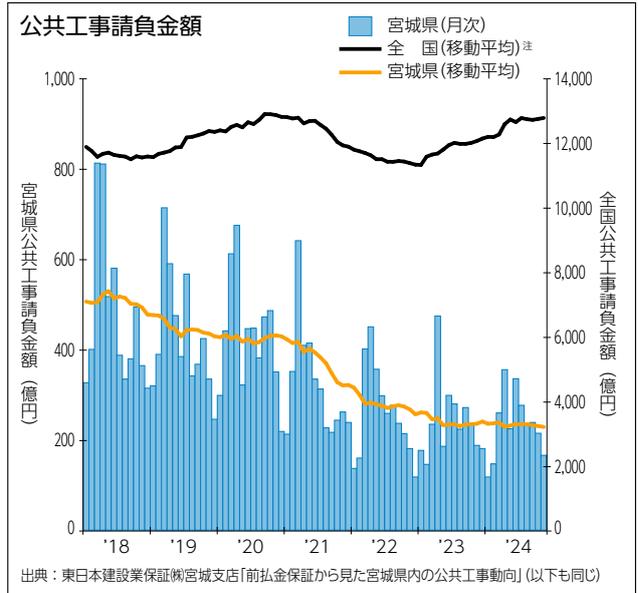
**公共工事**

11月の公共工事請負金額は、前年同月比11.7%減の166億円となり、3カ月連続して前年を下回っている。

発注者別にみると、国の機関では、同8.6%増の19億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同3.7%増の63億円、市町村等は同23.5%減の84億円となり、全体で同13.8%減の147億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年11月の請負金額(175億円)と比べた水準は5.4%減となっている。



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

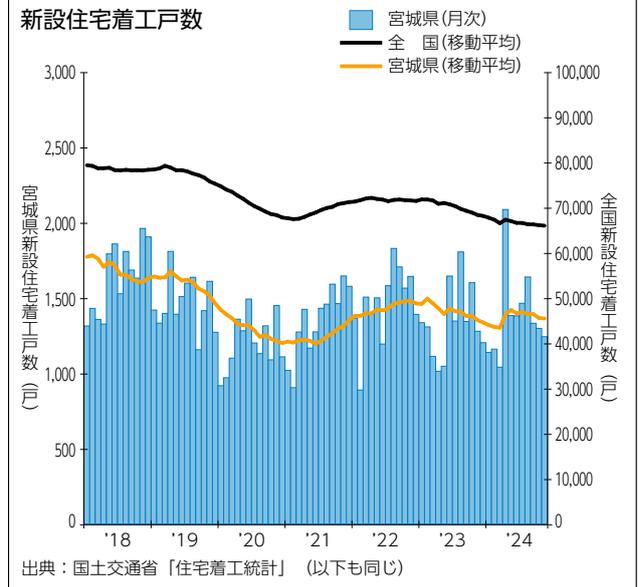
	2024年9月	10月	11月
宮城県	▲ 12.2	▲ 8.2	▲ 11.7
国の機関	▲ 19.1	▲ 32.7	8.6
県	▲ 38.3	▲ 33.5	3.7
市町村等	19.3	18.3	▲ 23.5
全国	▲ 1.9	3.2	4.6

**住宅建設**

11月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.8%減の1,246戸(全国1.8%減、65,037戸)となり、4カ月連続して前年を下回っている。

利用関係別にみると、持家が同19.4%増(351戸)と前年を上回ったが、貸家が同9.5%減(670戸)、分譲が同9.3%減(225戸)と前年を下回った。

また、震災前の2010年11月の着工戸数(1,320戸)と比べた水準は5.6%減となっている。



新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	▲ 0.9	▲ 18.9	▲ 2.8
持家	▲ 5.8	3.8	19.4
貸家	▲ 5.4	▲ 11.9	▲ 9.5
分譲	13.6	▲ 49.8	▲ 9.3
全国	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 1.8

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

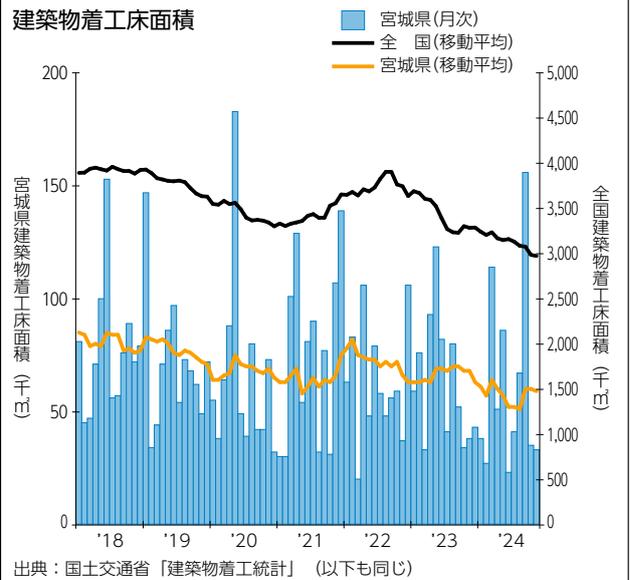
	2024年9月	10月	11月
市部	▲ 0.1	▲ 18.1	▲ 0.9
うち仙台市	▲ 8.3	▲ 23.9	2.0
うち仙台市以外	21.0	▲ 0.6	▲ 7.5
郡部	▲ 4.8	▲ 24.5	▲ 13.2

**建築物着工**

11月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比14.6%減の33千㎡、工事費予定額は同23.9%減の73億円となり、床面積は3カ月ぶりに前年を下回り、工事費予定額は4カ月連続して前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、事務所（2千㎡：前年同月比83.8%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	3.0倍	2.2	▲ 14.6
事務所	▲ 35.4	▲ 2.9	▲ 83.8
店舗	14.8	45.3	4.2倍
工場	▲ 40.4	▲ 51.6	▲ 71.5
倉庫	53.0倍	▲ 46.3	2.4倍
その他	25.8	39.6	▲ 42.8
全国	▲ 3.1	▲ 26.8	▲ 4.7

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	▲ 75.5	▲ 13.5	▲ 23.9
事務所	▲ 94.0	▲ 35.0	▲ 87.8
店舗	▲ 95.0	▲ 5.4	98.0
工場	▲ 92.6	▲ 36.0	▲ 64.2
倉庫	7.6倍	▲ 42.8	2.9倍
その他	▲ 82.8	22.2	▲ 26.5
全国	▲ 13.2	▲ 9.2	0.9

**消費動向**

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はいずれもこのところ弱含んでいる。乗用車新車販売は基調としては持ち直しに向けた動きとなっている。

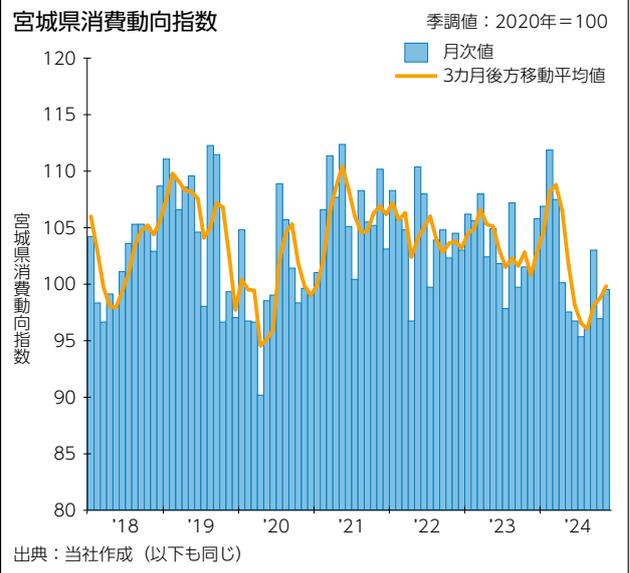
**消費動向指数**

11月の宮城県消費動向指数は、前月比2.6ポイント上昇の99.6となり、2カ月ぶりに上昇した。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「教養娯楽」などが上昇した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比1.1ポイント上昇の99.9となった。

宮城県消費動向指数



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

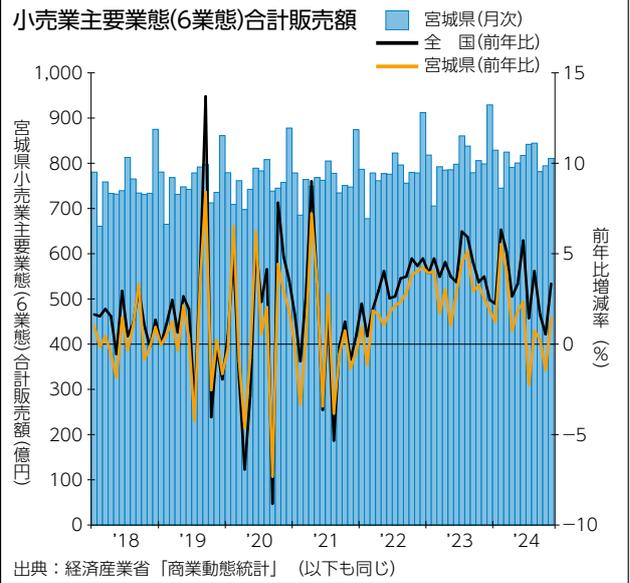
宮城県消費動向指数 (季節調整値、2020年=100)

	2024年9月	10月	11月
消費動向指数	103.1	97.0	99.6
家賃指数	107.6	109.1	109.3
乗用車販売指数	103.1	108.9	108.1
コア消費支出指数	107.5	102.6	109.3

小売業主要業態販売

11月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比1.5%増の815億円(全国3.4%増、4兆3,550億円)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同1.3%増の350億円(全国3.3%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。コンビニエンスストアは同0.3%増の198億円(全国1.9%増)となり、9カ月ぶりに前年を上回った。家電大型専門店 は同1.5%減の58億円(全国3.3%増)となり、5カ月連続して前年を下回っている。ドラッグストアは同5.4%増の152億円(全国6.3%増)となり、44カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.2%増の56億円(全国2.9%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。



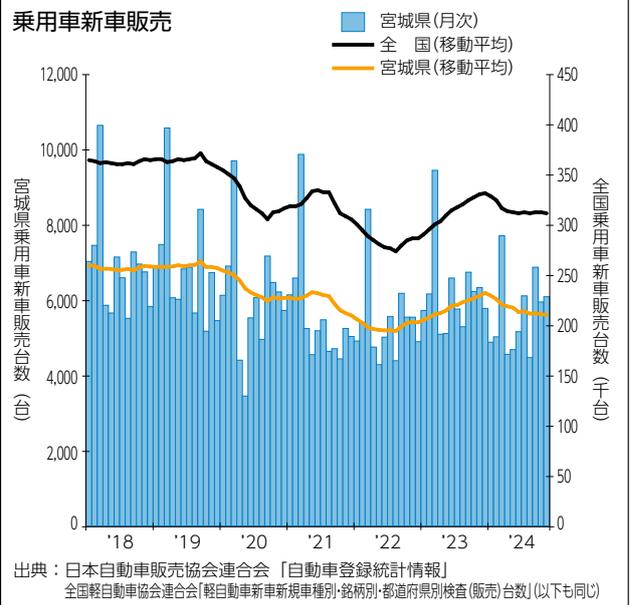
小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
6業態合計(宮城県)	0.3	▲ 1.4	1.5
百貨店・スーパー	0.2	▲ 2.5	1.3
コンビニエンスストア	▲ 2.4	▲ 0.6	0.3
家電大型専門店	▲ 1.4	▲ 8.6	▲ 1.5
ドラッグストア	4.9	4.4	5.4
ホームセンター	0.5	▲ 5.5	0.2
6業態合計(全国)	1.7	0.6	3.4

注) 全店ベース

乗用車新車販売

11月の乗用車新車販売台数は、前年同月比3.8%減(全国3.9%減)の6,100台となり、前月に引続き前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同2.5%増(全国5.4%増)の2,657台となり、前月に引続き前年を上回っている。小型車は、同2.2%減(全国13.9%減)の1,456台となり、11カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同12.2%減(全国9.4%減)の1,987台となり、前月に引続き前年を下回っている。



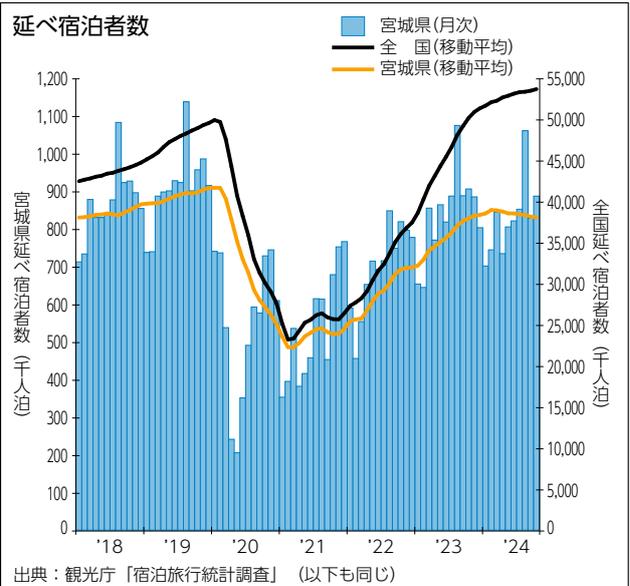
乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
宮城県	2.0	▲ 4.5	▲ 3.8
普通車	▲ 2.0	0.9	2.5
小型車	▲ 2.1	▲ 10.4	▲ 2.2
軽乗用車	10.1	▲ 6.1	▲ 12.2
全国	0.8	1.0	▲ 3.9

**観光動向**

10月の延べ宿泊者数は、前年同月比2.0%減の889千人泊となり、4カ月連続して前年を下回っている。居住地別にみると、県内宿泊客は同16.2%減の171千人泊と3カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同0.6%増の627千人泊と4カ月ぶりに前年を上回った。また、外国人の延べ宿泊者数は、同11.0%増の75千人泊となり、27カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2024年8月	9月	10月
宮城県	1,063	830	889
うち県内客	236	177	171
うち県外客	709	572	627
うち外国人	68	54	75
全国	64,977	53,706	58,440
うち外国人	13,235	12,376	15,823

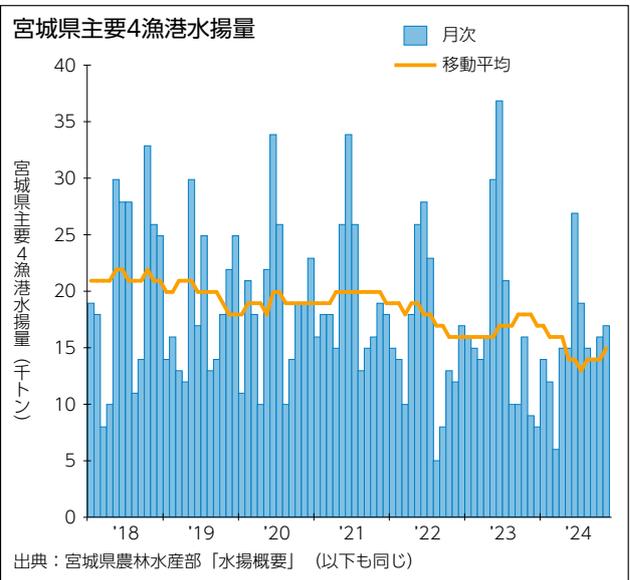
延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年8月	9月	10月
宮城県	▲ 1.4	▲ 6.8	▲ 2.0
うち県内客	▲ 3.2	▲ 20.1	▲ 16.2
うち県外客	▲ 5.2	▲ 7.0	0.6
うち外国人	37.5	31.8	11.0
全国	1.0	2.9	4.1
うち外国人	24.9	22.7	26.6

**水産動向**

11月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比83.0%増の17千トン、金額が同48.6%増の65億円となり、数量は2カ月ぶりに前年を上回り、金額は4カ月連続して前年を上回っている。魚種別にみると、数量、金額ともカツオなどが増加した。漁港別にみると、数量、金額とも全ての漁港が前年を上回った。

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
合計	43.4	▲ 0.1	83.0
塩釜	▲ 29.9	21.4	2.1倍
石巻	19.9	2.2	70.9
気仙沼	83.3	▲ 11.2	91.7
女川	5.1	32.5	87.1

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
合計	6.7	11.9	48.6
塩釜	▲ 36.4	28.0	34.2
石巻	14.1	11.2	20.7
気仙沼	22.6	▲ 4.3	70.8
女川	9.9	73.3	93.7

貿易動向

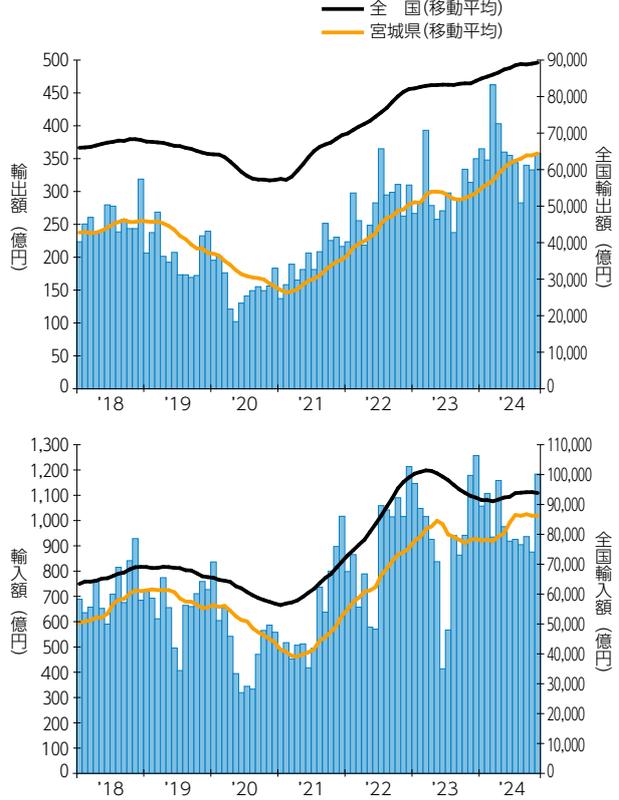
11月の貿易額(仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績)は、輸出が前年同月比14.3%増の357億円、輸入が同0.4%増の1,180億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。一方、輸入は液化石油ガスが増加したことなどから2カ月ぶりに前年を上回った。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年9月	10月	11月
宮城県	輸出	17.8	▲ 0.6	14.3
	輸入	8.6	▲ 7.0	0.4
全国	輸出	▲ 1.7	3.1	3.8
	輸入	1.9	0.4	▲ 3.8

宮城県内貿易動向



出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」(以下も同じ)

物価動向

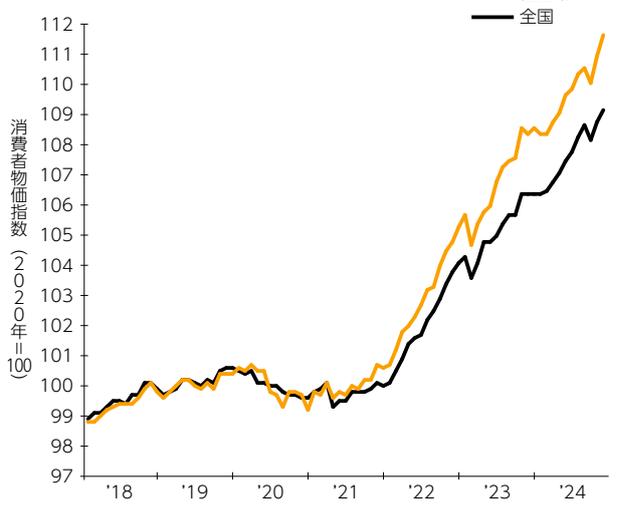
11月の仙台市消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.0%上昇の111.7となり41カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
生鮮食品を除く食料	3.5	3.8	4.4
住居	0.5	1.7	1.9
光熱・水道	6.0	0.6	4.7
家具・家事用品	3.8	4.4	5.3
被服および履物	1.8	1.1	▲ 0.2
保健医療	1.6	1.3	0.9
交通・通信	▲ 0.5	0.0	1.8
教育	3.4	3.4	3.4
教養娯楽	3.2	3.0	3.4
諸雑費	1.7	2.1	1.8

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合  
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2024年9月	10月	11月
仙台市	2.3	2.2	3.0
全国	2.4	2.3	2.7

### 雇用動向

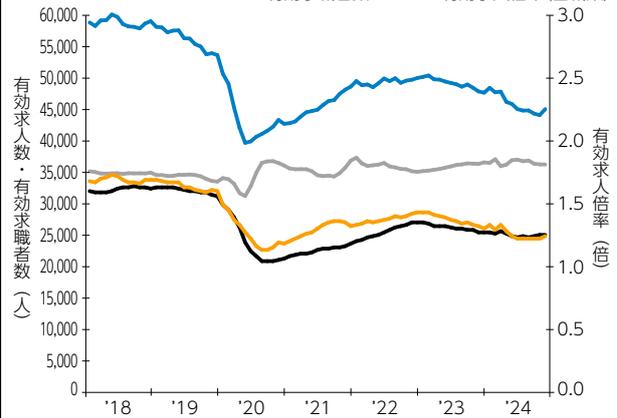
雇用情勢は持ち直しの動きが足踏みしている。

11月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人人数が増加したことなどから、前月比0.02ポイント増加の1.24倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べてサービス業、建設業などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、大和（1.48倍）、仙台（1.47倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.60倍）、塩釜（0.75倍）などは1倍を下回っている。

### 雇用動向



出典：宮城労働局「宮城県的一般職業紹介状況」（以下も同じ）

### 有効求人倍率等

(倍、%)

	2024年9月	10月	11月
有効求人倍率(宮城県)	1.22	1.22	1.24
(全国)	1.24	1.25	1.25
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 12.8	▲ 3.4	▲ 6.8

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

### 職業安定所別有効求人倍率

(原数値、倍)

	2024年9月	10月	11月
気仙沼	1.24	1.19	1.19
石巻	1.30	1.28	1.34
塩釜	0.73	0.71	0.75
仙台	1.38	1.43	1.47
大和	1.43	1.42	1.48
古川	1.00	1.02	1.02
築館	1.31	1.34	1.36
迫	0.87	0.88	0.84
大河原	0.68	0.61	0.60
白石	1.23	1.24	1.24

### 倒産動向

11月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数

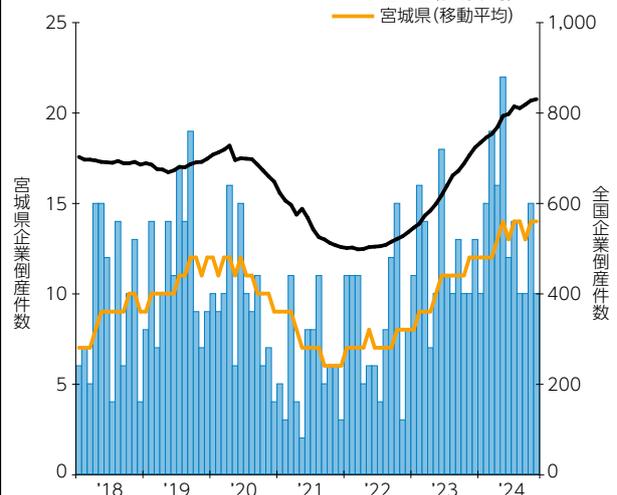
では前年同月比横ばいの10件、負債額では同58.1%減の10億円となった。

倒産企業を業種別にみると、サービス業他が5件、運輸業が2件などとなっている。

主因別では、販売不振が8件などとなっている。

地域別では、仙台市が7件などとなっている。

### 宮城県企業倒産件数



出典：(株)東京商工リサーチ「倒産月報(宮城県企業倒産状況)」（以下も同じ）

### 企業倒産件数・負債額

(件、百万円)

		2024年9月	10月	11月
宮城県	件数	10	15	10
	負債額	706	1,370	1,013
全国	件数	807	909	841
	負債額	132,754	252,913	160,223

### 企業倒産件数・負債額

(前年比、%)

		2024年9月	10月	11月
宮城県	件数	▲ 23.1	50.0	0.0
	負債額	▲ 76.9	25.7	▲ 58.1
全国	件数	12.1	14.6	4.2
	負債額	▲ 80.8	▲ 17.9	68.9

人口動向

12月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比17,195人減の224万4,807人となり、44カ月連続して前年を下回っている。

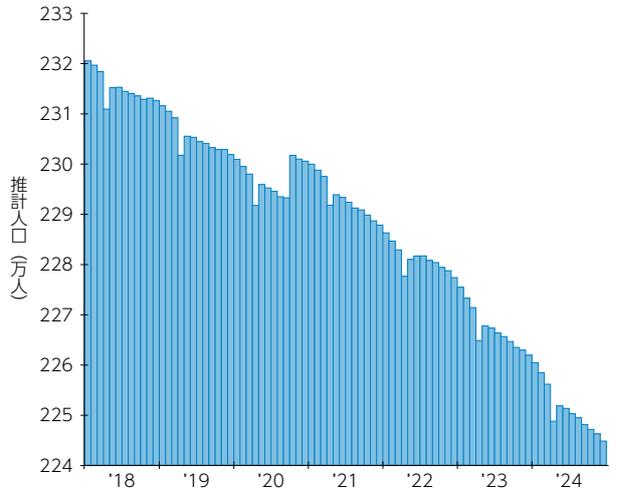
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,427人減、社会増減は232人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（104人増）、富谷市（22人増）の2市、減少したのは石巻市（2,293人減）、仙台市（2,292人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では10万2,046人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,007人増）、名取市（5,364人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万8,821人減）、気仙沼市（1万7,208人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年10月	11月	12月
総人口	2,247,139	2,246,257	2,244,807
自然増減	▲ 1,214	▲ 1,519	▲ 1,584
社会増減	226	637	134

注) 総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月	2023年12月	2024年12月	前年比	震災前比		2011年3月	2023年12月	2024年12月	前年比	震災前比
	①	②	③	③-②	③-①		①	②	③	③-②	③-①
宮城県	2,346,853	2,262,002	2,244,807	▲ 17,195	▲ 102,046	村田町	11,939	10,090	9,864	▲ 226	▲ 2,075
仙台市	1,046,737	1,098,036	1,095,744	▲ 2,292	49,007	柴田町	39,243	37,513	37,010	▲ 503	▲ 2,233
石巻市	160,394	133,866	131,573	▲ 2,293	▲ 28,821	川崎町	9,919	7,884	7,711	▲ 173	▲ 2,208
塩釜市	56,221	50,701	50,382	▲ 319	▲ 5,839	丸森町	15,362	11,178	10,849	▲ 329	▲ 4,513
気仙沼市	73,154	57,243	55,946	▲ 1,297	▲ 17,208	亘理町	34,795	32,723	32,489	▲ 234	▲ 2,306
白石市	37,273	30,852	30,173	▲ 679	▲ 7,100	山元町	16,608	11,545	11,399	▲ 146	▲ 5,209
名取市	73,603	78,863	78,967	104	5,364	松島町	15,014	12,697	12,486	▲ 211	▲ 2,528
角田市	31,188	26,621	26,177	▲ 444	▲ 5,011	七ヶ浜町	20,353	17,429	17,197	▲ 232	▲ 3,156
多賀城市	62,990	62,577	62,220	▲ 357	▲ 770	利府町	34,279	35,044	35,001	▲ 43	722
岩沼市	44,160	43,529	43,326	▲ 203	▲ 834	大和町	25,366	28,494	28,374	▲ 120	3,008
登米市	83,691	71,921	70,519	▲ 1,402	▲ 13,172	大郷町	8,871	7,471	7,364	▲ 107	▲ 1,507
栗原市	74,474	60,519	59,143	▲ 1,376	▲ 15,331	大衡村	5,361	5,527	5,494	▲ 33	133
東松島市	42,840	37,902	37,426	▲ 476	▲ 5,414	色麻町	7,406	6,293	6,126	▲ 167	▲ 1,280
大崎市	134,950	122,742	121,018	▲ 1,724	▲ 13,932	加美町	25,421	20,747	20,284	▲ 463	▲ 5,137
富谷市	47,501	51,527	51,549	22	4,048	涌谷町	17,399	14,417	14,026	▲ 391	▲ 3,373
蔵王町	12,847	10,793	10,618	▲ 175	▲ 2,229	美里町	25,055	22,977	22,626	▲ 351	▲ 2,429
七ヶ宿町	1,664	1,161	1,159	▲ 2	▲ 505	女川町	9,932	6,086	6,006	▲ 80	▲ 3,926
大河原町	23,465	23,513	23,297	▲ 216	▲ 168	南三陸町	17,378	11,521	11,264	▲ 257	▲ 6,114

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数=出生者数-死亡者数 社会増減数=転入者数-転出者数